

インバウンド回復？ 水際対策緩和で既に手応え 専門家の予想は

2022/09/23 毎日新聞



京都の観光地・嵐山の渡月橋周辺で雨の中、散策を楽しむ外国人観光客たち＝京都市右京区で2022年9月23日午後0時21分、梅田麻衣子撮影

新型コロナウイルスの水際対策緩和に観光業界の期待が高まっている。岸田文雄首相が来月11日からの訪日観光客のビザ取得免除や個人旅行の再開を表明。外国人にも人気の観光地では、にぎわいの復活に向け、受け入れ準備が進められている。

ANAは手応え「大変期待」

コロナ禍で約2年に及ぶ「鎖国」に耐えてきた観光業界。19年には過去最多の年間3188万人を記録した訪日観光客だが、22年1～8月は82万にとどまる。

政府は9月7日に入国者数上限を5万人に引き上げ、パッケージツアーの添乗員同行の条件を無くして自由行動を認めた。それでもインバウンド復活の動きは鈍く、業界からは、コロナ禍前は7割以上を占めた個人旅行の再開や、ビザ取得免除を求める声が上がっていた。



日本人参拝客が戻りつつある日光東照宮。水際対策緩和によるインバウンドの回復に期待がかかる＝栃木県日光市山内で2022年9月22日午後3時10分、渡辺佳奈子撮影

日本人参拝客が戻りつつある日光東照宮。水際対策緩和によるインバウンドの回復に期待がかかる＝栃木県日光市山内で2022年9月22日午後3時10分、渡辺佳奈子撮影拡大

今回の水際対策緩和に航空業界は手応えを感じている。全日本空輸（ANA）では、個人旅行再開が伝えられた11日ごろから国際便の予約が増え始め、年末年始の予約数はこの1週間で9月初旬の約2倍に達したという。ANAの井上慎一社長は23日、記者団に「日本を訪れたいという思いの表れだと思う。コロナ禍前の経

済インパクトは約5兆円と言われていたので、大変期待している」と話した。

今回の水際対策緩和でインバウンドは回復するのか。SMBC日興証券は、今後1年間のインバウンド消費が2・5兆円程度（19年は約4・8兆円）まで回復すると試算。関口直人ジュニアエコノミストは「コロナ禍前と比べて円安が進み、日本での買い物は割安になっている。19年比で旅行者1人当たりの支出額が2割ほど増加する可能性もある」と推測する。

一方で、厳しい水際対策を続ける中国からの観光客数の回復は当面期待できないため「すぐにコロナ禍前のようなインバウンドが戻るとは考えづらい。観光客に支出を増やしてもらえようような取り組みが業界にとっては重要になる」と指摘する。【渡辺佳奈子、南陽子、井川諒太郎】